

岩手県立大学 2014(H26)年度 新入学者アンケート

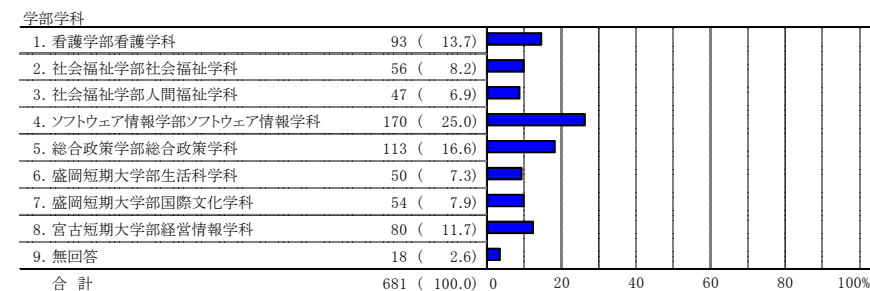
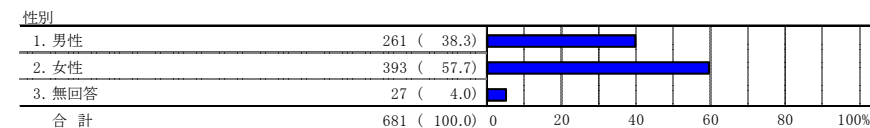
集計結果報告書（学外公開用抜粋）
2014（H26）年6月

目次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果の要約	2

1. 調査の概要

- ① 実施時期・方法：2014年4月新入生オリエンテーションにて配布・回収
- ② 対象：岩手県立大学新入学者（編入学30名含む）786名
- ③ 回答・回収状況：681票（回収率：86.6%）
- ④ 回答者内訳



2. 調査結果の要約

問 1 第一希望の大学

全体では「第一志望だった」73.6%、「第二志望だった」16.9%、「第三志望以下だった」9.0%となっている。

問 2 本学の入試に関する情報の入手方法

本学の入試に関する情報の入手方法上位 3 項目は、「入学案内(冊子)を読んだ」49.5%、「本学のホームページを見た」48.2%、「高校の先生からアドバイスを受けた」37.7%となっている。

問 3 本学受験や入学前の問合わせ状況

全体としては、約 15%の学生が何らかの問合わせをしている。「問合わせ時の担当者の対応」については 91.9%が満足しており、「どちらかといえば不満」「不満」と回答したのは 6.1%(99 人中の 6 人)であった。

問 4 本学の大学説明会やオープンキャンパスへの参加状況と参加時の満足度

受験にあたり、本学の大学説明会やオープンキャンパスに参加した学生は約 5 割。参加割合が最も高いのは社会福祉学部社会福祉学科 66.1%、最も低いのは宮古短期大学部経営情報学科 38.8%となっている。満足度については、参加した学生の 93.9%が「大学について大変よく理解できた」34.7%、「概ね理解できた」59.2%と回答をしている。

問 5 本学のホームページの閲覧状況と満足度

受験にあたり、本学のホームページを閲覧した割合は 88.8%。閲覧したと回答した学生の 89.3%が、大学について「大変良く理解できた」23.6%、「概ね理解できた」65.6%と回答している。

問 6 本学の入学案内(冊子)の閲覧状況と満足度

受験にあたり、本学の入学案内(冊子)を見た学生は 91.2%。そのうち 95.5%が、大学について「大変良く理解できた」38.6%、「概ね理解できた」56.8%と回答している。

問 7 本学の受験決定時期

本学の受験を決めたのは、全体としては入試直前といえる「センター試験の後」34.1%が最も高くなっている一方、次いで「高校 2 年以前」18.5%が高くなっている。学部・学科ごとに差異もある。

問 8 大学進学を考えた理由

新入学者が大学進学を考えた理由の上位は、「専門的知識や技術を修得するため」48.5%が最も高く、次いで「資格を取得するため」27.9%、「就職に有利だから」27.6%、「就職に必要な勉強をするため」26.7%となっている。学部・学科ごとに特色も出ている。

問 9 進学や受験のときに本学を選んだ理由

進学や受験のときに、本学を選んだ「大きな理由になった」という積極的な肯定回答だけみていくと、「公立(県立)大学である」69.2%に次いで「資格の取得」35.4%、「校舎、キャンパス等のイメージ」31.3%、「卒業生の就職先や就職率(就職に有利)」30.7%、「教育課程や授業構成内容」30.1%となっている。

問 10 一般的な受験大学選択の理由

「校舎、キャンパス等のイメージ」「学校案内書やHPのイメージ」、「全体としてのブランドやイメージ」「建学の精神や教育理念」などの項目において、「本学を選んだ理由」が一般的な理由と比較して順位が高くなっている。

また、「高校や塾の先生の薦め」「両親の意見や薦め」についても、影響度の順位が高くなっている。

問 11 筆記試験問題の難易度、解答時間、内容の適切性

筆記試験問題の難易度、解答時間、内容の適切性について、全体として「適切でないと思った」のは、筆記試験を受けた学生 582 人のうち 19 人(3.3%)であった。学部・学科の偏りもみられる。

問 12 面接や面談での質問内容や実施方法の適切性

面接や面談を受けた学生 408 人(無回答を除く)のうち、「適切でないと思った」のは 4 人。「どちらともいえない」は 19 人。面接や面談を受けた学生 408 人のうち 385 人(94.4%)が「適切だと思った」と回答している。

問 13 試験のときの教職員の対応、試験室等の設備、会場案内の適切性

試験のときの教職員の対応、試験室等の設備、会場案内の適切性についての「適切でないと思った」のは全学で 3 人のみ。「どちらともいえない」は 10 人となっている。

以上